

事業目的

スポーツ・ダンス等の「人物や物体の動きを含む映像」について、映像の利活用の需要が高まっている一方で、多くの瞬間は撮影されず、撮影しても手作業の編集・分析に膨大な工数がかかり、映像の価値を十分に活かしていない。こうした撮影・編集業務の自動化が求められているものの、精度・スケーラビリティ・汎用性の面で越えるべき技術的障壁が残っている。我々は、学習データの構築に膨大な手作業のラベリングを要するためスケールしない、個別タスクのためのAIモデルを別々に学習するため統合的な映像理解ができない、という2つの課題をクリアすることで、自動生成データによるマルチタスク事前学習を通じて「誰が・どこで・何を・いつ」を統合的に表現する時空間特徴表現を獲得し、競技や領域に依存しない動的映像理解の基盤モデル(Vision Foundation Model)を実現する。

事業内容

本研究開発では、Computer Visionパイプラインを統合した自動アノテーションにより実環境で取得した映像から教師信号を自動抽出し、空間タスクと意味タスクを単一のSpatial & Temporal Transformerで同時に事前学習するマルチタスク学習によって課題解決を図る。また、実環境データ収集→自動アノテーション→モデル学習→プロダクト検証の継続的改善を可能とするMLOps基盤の開発を行い、3つのPoC(①自動アノテーションパイプラインの構築、②事前学習モデルの構築と公開ベンチマークでの評価、③エンタメ・教育領域への展開可能性調査)を通じて、ハイライト映像の自動生成・AI解説等の下流タスクの事業可能性を検証する。

事業成果

事業者情報

作成/更新:2026年9月

株式会社AllClip(筑波大発スタートアップ)

所在地:東京都千代田区
設立年:2025年
HP:<https://allclip.com>



概要図等

